

授業科目 生理学実習Ⅰ

【担当教員名】 蘆田 一郎	対象学年	1	対象学科	理学(後半)・言語	
	開講時期	後期	必修選択	必修	
	単位数	1	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	◎	
【概要】					
<p>本科目では、「感覚機能、運動機能、心臓・循環機能、呼吸機能、消化機能」について実験的に学ぶ。基礎資料（教科書と生理学サイト、下記）からの情報収集、自分自身や友達を対象とした実験、そして採取したデータの適切な取りまとめを通して生体機能の理解を深める。</p> <p>実験項目は「二点弁別閾値の測定、重量弁別の実験、肺活量・1秒率の測定、血圧の測定、心電図(ECG) の記録・解析、表面筋電図(EMG) の記録、唾液分泌量の測定」であり、実施の順序はサイト上（後述）に公開する。</p>					
【学習目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の「生理学サイト (http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/)」にアクセスし、実習資料を入手できる 2. 入手した実習資料を基に、実験遂行に必要な知識を整理できる（必要に応じて、図書館などで参考図書に当たり、資料を適宜加工できる） 3. 実習に参加して、学習項目に関する有効なデータを採取できる 4. 採取したデータを基に実験結果をまとめ、その生理学的な意味を考察できる 5. まとめたデータへの検討を通して、自分や友達の結果・考察に対してコメントできる 					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	実習ガイダンス		実習、担当：蘆田 一郎 他		
2	実習項目 - 1		実習、担当：蘆田 一郎 他		
3	実習項目 - 2, 3		実習、担当：蘆田 一郎 他		
4	実習項目 - 2, 3		実習、担当：蘆田 一郎 他		
5	課題要旨の講評（実験項目 - 1）		実習、担当：蘆田 一郎 他		
6	実習項目 - 4, 5		実習、担当：蘆田 一郎 他		
7	実習項目 - 4, 5		実習、担当：蘆田 一郎 他		
8	課題要旨の講評（実験項目 - 2, 3）		実習、担当：蘆田 一郎 他		
9	実習項目 - 6, 7		実習、担当：蘆田 一郎 他		
10	実習項目 - 6, 7		実習、担当：蘆田 一郎 他		
11	課題要旨の講評（実験項目 - 4, 5）		実習、担当：蘆田 一郎 他		
12	実習項目 - 8		実習、担当：蘆田 一郎 他		
13	実習項目 - 8		実習、担当：蘆田 一郎 他		
14	課題要旨の講評（実験項目 - 6, 7）		実習、担当：蘆田 一郎 他		
15	課題要旨の講評（実験項目 - 8）		実習、担当：蘆田 一郎 他		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		シンプル生理学（改訂第6版）	貴邑 富久子、根来 英雄	南江堂	2008・2,900円＋税
参考書					
その他の資料		「生理学サイト」(http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/)			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
成績は「出席」、「課題要旨」ならびに「期末試験」の合計点で評価する（とくに「課題要旨」を重視する）。		実習室ならびに実習用具の制約から、上記の「授業計画」にある項目順序が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。			
		「課題要旨」の作成に当たって、先輩や友人のもののコピー&ペーストなど不正行為があった場合には、本科目の「不合格」を含めた厳しい対応があり得るので呉々も注意する。			
		なお、客観性と公平性の確保が困難な「実習態度」は評価の対象としないが、明らかに他人の迷惑となっている場合には、退室を求めることがある。			